

第三回理事会

大会宣言の処理を検討

同日県教委との懇談会も開く

本年県大会の反省、第二回理事会が、さる六月二十七日新潟市四尾公会館で開かれた。当時は飛田会長以下七理事のほか柏崎市小林社教員も出席、理事会終了後、県教委長と社教員、金井第一指導係長、小林庶務係長など六名の関係者を囲み、今後の県公連の運営等につきなごやかに懇談、種々要望するところがあった。以下は当日の理事会協議事項の要約である。

報告事項 (6月17日県庁で開催の年度一般
①新生活運動協合理事 特別会計の事後承認について
会務を終了してほかに四歳案審議、法律副会長出席)

②新潟県公民館連協局長会議終了
について(6月16日東京県教会
館で開催、本年度全国大会につ
いてなご七項目の打ち合わせ事
項と新生活指導運動協会の関係ほか五
等、本田事務局長出席)

③新潟県公民館連協会について(6
月13日新潟市婦人公会館で開催。
本飛田会長、参与に委嘱され
る)

④開会式に原真樹のおおむらひ完
えなかつたのは残念。
⑤西川柏崎市中央公民館長指揮に
よる吹奏楽は、大会の圧巻であ
り特に感服深かつた。

⑥被表彰者は全県来賓してほしか
つた。
⑦地元出身関係への案内をすべき
であった。
⑧事業報告はよりなごでもなかつ
たのではないか。
⑨主題が抽象的だったので分科会
の方向が定まらなかつた。
⑩被表彰優良公民館の体験発表な
どとり入れたらよかつた。馬
う。

⑪大会資料は代金を取つてもよい
から立派なものを作るべきとな
り。資料担当委員を認めるこ
とも考えてよい。
⑫大会決議文の処理について
⑬別紙成文を関係方面との対外折
衝等あらゆる機会に資料として
準備する。
⑭公民館の懇談会については、
町公民館理事会の開催期に合わせ
準備する。

①新潟県公民館連協局長会議終了
について(6月16日東京県教会
館で開催、本年度全国大会につ
いてなご七項目の打ち合わせ事
項と新生活指導運動協会の関係ほか五
等、本田事務局長出席)

②新潟県公民館連協会について(6
月13日新潟市婦人公会館で開催。
本飛田会長、参与に委嘱され
る)

③新潟県公民館連協会について(6
月13日新潟市婦人公会館で開催。
本飛田会長、参与に委嘱され
る)

④新潟県公民館連協会について(6
月13日新潟市婦人公会館で開催。
本飛田会長、参与に委嘱され
る)

⑤新潟県公民館連協会について(6
月13日新潟市婦人公会館で開催。
本飛田会長、参与に委嘱され
る)

宣 言

われわれ公民館関係者は、過去十数年の長きにわたつて各対象地域の社会教育センターとしての重要な使命を深く認識し、積極的に意欲的に活動をつづけてきたが、その際常に公民館の正しい位置づけと充実強化のためには、公民館法制定が欠くべからざるものであることを痛感せられ、例年行なわれる各種の公民館関係大会において、これが実現を関係方面に強く大きく要望を続けてきたが、いまだにその制定をみないことはまことに遺憾といわなければならない。

しかし静かに省みて従来のこの運動はともすれば公民館関係者のみの間に偏していた傾向のあつたことにかんがみ、第14回新潟県公民館大会を契機として、その趣旨の徹底を期するとともに県公連はそれ等の力を結集して一日も速かに公民館単行法が制定されるよう更に各方面に強く働きかける。

以上宣言する

昭和38年6月9日

新潟県公民館連絡協議会

副 書

- 1、県教育委員会はすみやかに県下の実情に即した公民館設置基準を決定し、その基準にそつた公民館として県内各公民館の体質改善が行なわれるよう市町村当局及び市町村教育委員会に対し、あらゆる機会をとらえて強力に行政指導ならびに助言を行なわれるよう要請するとともに、これが具現のため果としても、これが勸奨及び助成の措置を講じられたいことを要請する。
- 2、県公連は、全公連に対して全国各市町村に公民館が100パーセント設置されるよう運動を強力に展開するとともに、その機能が十分に発揮できるような施設整備の方策を樹立し、その具現のため併せて真剣に努力を傾注されるよう全国公民館大会において要請する。

☆県内公民館へ

☆図書プレゼント

株式会社「アルプス」からこのたびは全公連を通じて、公民館に図書が寄贈されました。このうち新潟県には、四〇館分(六社二組)が割り当てられています。読書運動に努力して、いる公民館、図書館にぜひ備えてほしいとのことです。御希望の公民館は、県公連事務局へ、送料総費三〇〇円を添えて七月末日までお申しください。先着四〇館にお届け申しあげます。贈呈する図書の名は次のとおり。

- 「明日は誰のソネット」 桑取 三義 著
「奮闘集巻四」 富沢 為男 著
「大阪の八山公三郎」 佐藤 君子 著
「鉄ひょうじ」 今井 遠夫 著
「くるま人生川柳集」 小田 綴夫 著
「前垂れ元節」 清水正二郎 著

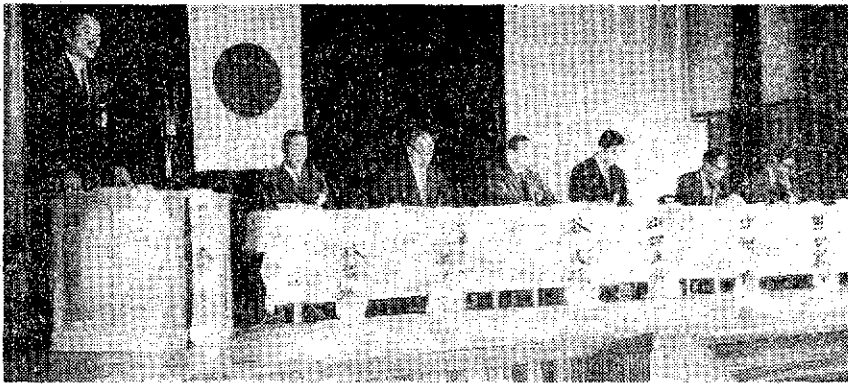
第13回社会を明るくする運動はじまる

「社会を明るくする運動」が法務省の主催で、七月一日より向う一方月間、全国的に強力に展開される。本運動の実施は今年で第十二回を迎えるが、特に最近の青少年非行の増加、悪質化、命令低下等の憂慮すべき傾向に對して、犯罪防止思想の普及徹底を図ることを重んじているものである。運動の方法としては、多数の機関、団体の理解と協力が必要であり、特に家庭の関心が高められるよう広報を行うとともに学校、職場、地域住民の積極的参加のもとに非行防止のための具体的な対策、健全な青少年の育成策等を図る事業が要求されている。



地域社会の生活文化の発展に

資するため公民館はかくあるべきだ



施設を造ることが先決

じつくりとした研究も必要

県大会

シンポジウムから

(写真の左から)

- 司会 加茂市小学校長 増井 佛三郎氏
- 講師 柏崎市長 小林 治助氏
- 高柳町長 菅井 甚一氏
- 県社会教育課長 谷 久弥氏
- 新大教授 山口五郎氏
- 新潟日報論説委員 中村 八郎氏
- 県農協中央会副会長 田口 龍司氏

テーマ「地域社会の生活文化の発展に資するため公民館はかくあるべきだ」

○菅井講師 地域の住民が個々に自分の生活を考え、反省し向上改善をはかるために、活動しやすい体制にもつていくことが望ましいと思う。住民が1体となつて、この運動にとりこんでゆくように、町当局はまず機材器具を整備し、職員の充実をはかりたい。人口1万人程度ならば、4人の職員はどうしても欲しいと思う。

○小林講師 地域社会のものが、住みやすく、よい環境の社会を作り上げるために、われわれはどうしたらよいか、公民館活動にまたねばならない。それは、この地域がどういう地域であるか、認識することが大切だ。スライド等にして、市のおかれている立場を理解し、市の特殊性を見出し、われわれは、どうあらねばならぬかを研究してゆくことだ。生活文化は経済を無視できない。諸団体がたがいに協力してよい環境を作ること、公民館は大きな働きをしている。施設職員の問題解決に公民館単行法が必要だ。

○田口講師 農村生活そのものが、前時代的にのこされている。大きな地域社会における、農業の方向づけについて、ご指導願いたい。農業基盤本の中で、現実に構造改善されて産他業との均衡のとれる所得を確保し、明るい住みよい社会をつくりたいと努力している。そして、若い青年が、次の農業の負い手として、農村に残れるような青少年の教育について努力していきたい。

○山口講師 (専門 国際法) 国際的な視野から、みてゆきたい、日本の学校教育は世界一であるが、社会教育は低い。ヨーロッパをみて子供のしつけも大切だが、大人のしつけも考えなければならないと思つた。それには、いままでのCPHのやり方では不充分だ、地域で一ぱん大切な問題は、なんであるかを分類する必要がある。

○中村講師 市町村では、高校の整理国体の準備等を優先し、社会教育を冷遇している。理事者は、社会教育の重要性を説いてはいるが、口先だけである。社会教育、CPH予算を優先し、ほかにみだりに、これを用いないということにしていただきたい。この実現はCPH関係者の責任である。

○谷講師 まず何んと言つても金と人の問題である。施設の面で本県は弱体であるが昨年あたりから除々に新築館も増えて来ている。しかし現在の程度の国の補助起債のみではもの足りない。定額補助から定率補助にするよう運動している。

- 公民館職員の専門性については今後の研究課題である。
- 社会教育における公民館の仕事の範囲も考えてゆきたい。
- 公民館職員は教委で適性をしらべて採用して欲しい。
- 公民館はアイデアを作ることと計画性が必要である。

補足 中村講師、総合開発計画に社会教育は入っていない。この中に社会教育の位置づけをしてほしい、と言う運動をしてほしい。

谷講師 総合計画のほかに長期総合教育計画というものが社会教育面は主としてこの方面から開拓して行く予定である。

山口講師 新潟で婦人団体で憲法の問題の学習を開いたら一年間も続いた。大したことでないと思つてもやつてみなければわからない。

質問 吉津(新潟)人も施設も金もすべて足りぬのが公民館である。その現在の公民館にとつて最も大切だと思われる印象深い言葉を一つ

答 菅井講師 学校教育だけでは駄目だ成人教育をやらねばならぬ、それにはまず施設を作ることが先決である。小林講師 社会教育は各種機関の補助を総合的に活用して行くことと施設の充実が大切だと思う。

山口講師 乏しい智識を最大限に活用して一人の人間として役立つたい。谷講師 魅力ある公民館活動のためのじつくりとした研究会開催を提唱する。

県大会にきかされて、第一、新潟、新潟県西一郡の公民館が先行なわらわらした。この際、採択された大会決議を紹介いたします。

大会決議

急速な生活文化の進展に伴つて、生活文化の領域にも大きな変革がもたらされ、反面誘致事件、小規模事件誘致の傾向も多くなつて、きびしい現実を呈している。つきこれに対応する新しい決意をもち、社会的良心を育てるために、いよいよ社会教育の重要性が痛感されておる。

私達はこの緊急事態を新たにして公民館の使命達成に邁進することを誓ひ、共に、四、県、市、町、村当局の積極的な施策を要請し併せて社会教育進歩のため活動事項の実現を要望してゆきます。

- 要請事項
- 一、地区及び空室町内公民館の施設整備を、そう充実すること。
 - 二、専任公民館員を必置制としその身の確保すること。
 - 三、青少年教育の充実をはかることに成人教育の発展を期すること。
 - 四、社会教育関係団体育成費の大口増額を希望すること。
 - 五、国、県、市町村の公民館費の大口増額を希望すること。

右決議する。

昭和三十八年六月廿七日
第十一回富山県、新潟県、長野県、四市郡
公民館連絡協議会八大会

発展に資するための公民館

14回県大会分科会から

4. 施設設備の充実策については、予算がない等のカベにつき当りがその中で理事者側へのための働きかけにより重点的に実現に努力しなければならない。
5. 施設設備の充実について、県公選及び県社会教育課による文部省、市町村理事者への具体的な働きかけが説明された。
6. 分館施設の乏しい現状の中では、中央館を拠点として、職員、施設を強化してゆく必要がある。
7. 施設、設備の利用については、公民館独自の使用は当然としても、もつと住民が利用しやすい体制にする必要がある。

都市近郊第3

司会 鈴木 孝
 助言 大平博松 佐藤貞正
 記録 峯村 誠

職員組織、経費の面に話し合いの重点をおき進めた。(その現状)

1. 職員の不足しかも兼務者が多いため専業が思うようにできない。
2. 個人の生活を犠牲にしてまで活動している。
3. 年々予算が減少している。
4. 理事者の理解が不足であるというだけでなく理事者に実態をよく訴えることに欠けている。

(今後の方向)

1. 運営審議委員からもつと現場をみたり聞いたりしていただく機会をつくり、職員の増員経費の増減に対しバックアップして貰う。
2. 職員の増員をはかるため職員個々の実績の積み重ねが必要である。
3. 公民館主事は教育のマネージャーであつて、教育者を一般住民から見いだすことをせねばならない。
4. 主事が種々仕事の分野で交通整理をするように、もつとゆくことが理想だ。
5. 学校教育も社会教育も同じ教育である。そこで一般行政の仕事と分離し進んでゆかなければならない。

農山漁村第1

司会 久川福扶
 助言 丸山久夫
 記録 荒川邦威
 参加 36名

1. 限られた予算と限られた職員では活動にも限界がある。地域の関係機関と緊密な連絡を保つて地域住民の要望を掘り下げて再検討し身近な問題と取り組む。
2. 公民館活動は開門を大きく持つべきでない。話し合いの効果は大きい。話し合いの機会をより多く持つべきだ。
3. 近年まで二三男対策を取上げていた国、県が今は青年層の引とめ策である。国、県等の方針の一環性がほしい。行政と直結した社会教育が必要である。
4. 従来の青年公民館では社会教育の推進は無理だ。施設の整備が先決である。
5. 社会教育は地道である。土木事業のようなわけには行かないが、しん棒強く実質本位に活動を続けることが必要である。
6. 地域より青年層が流れ出し、農村の老令化が兼業化は文明のもたらす自然の理というべきで、意にとめる必要はない。農家は機械化し少数人口で経営耕作面積は増大している。公民館はその実情を見つめて諸関係機関と連携を保ち、裏付けのある産業活動を推進すべきだ。
7. 社会教育は学校教育のように公教育として能力に取上げるべきだ。

農山漁村第2

司会 高橋竹治
 助言 森川 寿
 記録 小林美鈴

1. 施設設備面について公民館(独立)の設置は名称だけでなく、県当局において、条例等により強力による義務化する処置していただきたい。
2. 青年団と青年学級について青年団の現状は、親戚団体として期

待がもてない。学級グループ活動で、内容を生産につなげた実践的なものとして育成された。

3. 公民館活動の内容と、こんどの考え方について手不足な職員が、余りにも多種多様な面に手をかけすぎると、主事は主事としての限界において作業してはどうか。
4. 理事者始め、議会にもつと政治的に働きかける必要がある。(予算、職員不足及び機動力増強のために)
5. 助言者のことば
 - ①団体が個人への対象のつかみ方に目を打てる。
 - ②法改正のキツカカとして、理事者及び住民にP・Rする。

農山漁村第3

司会 大島 順平
 助言 中浜新四郎
 記録 西川 雄三
 参加 39名

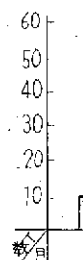
1. 公民館予算についてただ予算をよこせと云つても、予算をつけなければならないような必要感、重要性、み力ある実績を挙げるのが先決だ。たとえば農業構造改善とか、農村に嫁に来たがらない等重要なポイントをつかみ、選択して方向を定めるべきだ。青年を中心とした教育をおし進めようとしても、その対象が少な過ぎるため予算かく得にも悩みがある。公明選挙運動といつても公明選挙で当選できるまでやらねば価値がない。文化活動は限界がない。これが社会教育活動の容易ならぬ実態だと思われる。社会教育は生きた教育だ。余りしばり過ぎないようにすべきだ。少くも市町村で1カ所位宿泊施設を持つ総合的教育のできる館、いわゆる総合社会教育センターを建てられるように。公民館人は、何でも絶てに長ずることは現実的にむずかしい。住民の学習意欲を開発し、これを実現化する計画を立て、住民の中から特技を有する者等の協力を得て組織化するアイディアマン、プランナーとしての本質的役割に向つて進むべきだ。

△こどもを水から守ろう▽

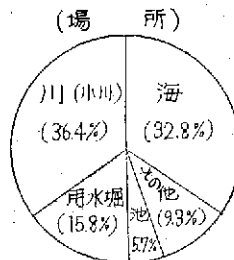
——昨午の事故をふりかえつて——

七月、八月は水死事故が多い。例年のことながら、七月、八月は水死事故が多い。(年間事故の半)これを防ぐ方法をわれわれはもう一度真剣に考え直す必要がある。特にこどもの水死事故は、大人の庇護に注意力と、指導とによつて完全になくすることができるとはあるまいか。

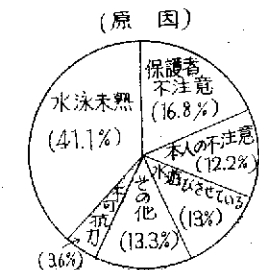
水死の場所、原因で問題になるところは……(三十七年七月、八月の水死者一〇七名)



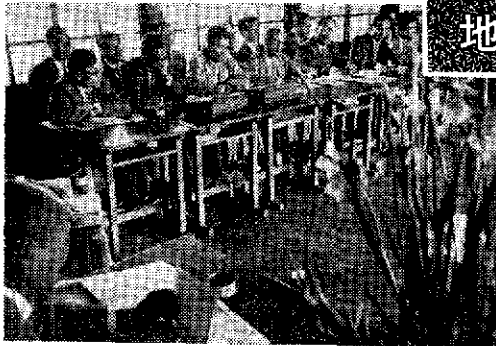
事故の多いところは、やはり川(小川)と海である。そのうち水泳不熟というのが四割であり、保護者の不注意がそれに次いでいる。不可抗力によるものは、僅か三・六%といふことは、われわれに水泳や水遊びの指導の方法を考えさせるにしようである。



われわれは地域ぐるみでこの悲しむべき事故の絶滅を期して立ちあがりたいものである。(原社会教育課)



地域社会の生活文化の



写真は農山漁村の3部会右手前のアヤマは青年学級生のいけたもの

都市第1

司会 杉野哲次 大原善行
 助言 清水義郎 北島俊司
 青柳仁久治
 参会 35名
 記録 小林辰司

都市部会であるので中央公民館にしばつて話を進めた。
 ・設置基準はあつても予算の面で実現は困難、とかく為政者は社会教育を軽視するきらいがある。

三毛猫日記

no.7 うつき、みず



「わりとよすがしい、
 困りも遅うとまで
 んん、論文は……」

都市近郊第1

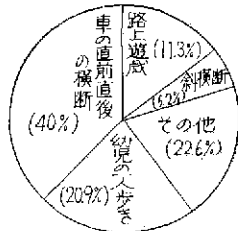
司会 吉田政一
 助言 山崎信義 小黒精治
 記録 駒野 侑
 参会 34名

CPH活動の対線形態行事の持ち方等について討議する。

1. CPHは過去にいろいろ行事や学級

(県社会教育課)

歩行中の主原因は下のグラフに示したとおりである。もちろん運転者の不注意によることもあるが、保護者の不注意による事故が大半である。
 ・安全宣言をしてここに一年、幼児学童の交通事故の発生を期すべくつとめようではないか。



年月	件数	死者	傷者
37.7	138	5	140
8	162	4	174
9	117	3	119
10	80	10	83
11	61	2	71
12	56	3	61
38.1	18	1	17
2	29	0	30
3	77	3	75
4	117	3	118
5	125	4	122

水難事故と同じように、七八月の件数が非常に増加するので注意しなればならない。受傷の区分でも、歩行中が九二%、自転車運転中が六・四%その他一・二%で、歩行中の事故が最も多い。

都市近郊第2

司会 田村景三
 助言 龍山宋松 佐竹 実
 記録 高橋正則
 参会 25名

1. 公民館が主題の役割を果たすために必要な施設設備の充実及び充実を阻害する問題等に討議を方向づける。(都市近郊の特性を考慮に入れながら)
2. 住居の公民館施設についての概況を話題として提供。
3. 村上、巻、横越、豊栄等各地の施設設備の概況について説明あり。

交通安全県宣言をしてから一年

交通事故をなくしよう

昨年七月二〇日に交通安全県宣言をしてから一年になったが、今年の五月までの幼児、児童、生徒(中学生)の事故は左記のとおりである。

- ・主題生活文化の発展とは精神的な面にも重点をおき施設・人の面が考えられていないきらいがある。
- ・社会は公民館に何を求めているか見ださなければならない。
- ・新しくできる勤労青年学校としてどれほどの期待がもてるか、高校に行けない、定時制にもゆこうとしない、ざりとて通信教育をうけようとする意欲も持ち合せない青年を集めようとしてもどんなものか、公民館が精神訓話的教育をやるとういうならこれは一考を要しよう。
- ・都市が大きくなればなるほど社会は公民館とのつながりがうすくなる、これを引つけるには施設の充実が第一である。
- ・施設や職員の問題は10余年連続されたことで、この機会に全県の運動として強力に推進してほしい。
- ・金、施設、人とすべてが不十分の中でやつてきた公民館は、そのことに妥協せず住民に欠けたものを補い下げて、これと取組む熱意がほしい。(現在の限られた予算をどのように効果的に事業の上に生かすか)
- ・現在でまず考えられることは青少年対策であろう。
- ・不良化防止は全市全町の努力が必要である。不良化は決して彼等だけの責任ではなく、彼等を取巻く社会の大人たちが自ら深く反省して適切な対策を講ずべきだ。

- を行つてきたが、いづれも地域住民の本当の文化向上に役立っていないように思われる。今後の活動や方向としてよい方法がないだろうか。
- 2. 青年団も年々弱体化し専任職員も本庁一本化となつた今日、広報活動をより盛んにしてはどうか。
- 3. CPHは青年の願いをくみ取つてくれるものがない。
- 4. 青年教育がうまくなければ成人講座(学級)の中へ吸収する方法はどうだろうか。
- 5. 成人教育自体がむずかしい、だき合せ方式を取つたらどうだろうか。例えば幼児教育、産業経済の行事等をタシとして成人講座をもちその中に青年を吸収する方法はどうか。
- 6. 集団教育だけでなく個人を対象とした投書箱による相談室とかグループ的活動とかにもつと力を入れる必要がないだろうか。
- 7. 中央集権的CPHの組織では合併地域は振興しない。人的財政的にも地域CPHに重点を置いてほしい。
- 8. 住民の熱意によつてCPHの建設がなされ運営されている地域もあるがその住民の熱意や意欲はどうしてできたか聞かせて欲しい。
- 9. その町の住民所得が他地域と比べて少し上つているが、その他に長い間につちかわれた何かがあるように思われる。

大会記念講演要旨

最後の目的と パカンス



(欧州全図をバックに熱弁をふるう) 樋上亮一氏

六〇口問の扉のみで、欧州を
理解することはむずかしい、また
わかたるとはいないが、私な
りにいろいろのことを学んで
来た。

欧州のよの所は学ばなければ
ならないが、雑誌、われわれの五
はわれわれ自身の手で実現する
かはないことを痛感している。

欧州を見ての共通点は、学校教
育施設のみにおいては、日本ほど
力を入れていないとい
うことだ。

日本は教育の熱な
国であるけれども、
残念ながら教養は専
門であるといわざる
を得ない。

総合社会教育施設は
各国にたくさんあつ
た。特にフランスの
ものはなかつたので、
この点は安心してい
が、内容に於いては
段々すくわけていた。
日本の青少年教育に

本来的にちがうのは、欧州には二
〇才以後の青少年教育はないとい
うことだ。これは二〇才を超えた
人間は社会生活において完全に一
人前としてあつた
われからであ
る。日本では二〇
才になつても教育
的に教育的なもの
も半ばまであつた
えられていない。

欧州においては
労働力が足りないことから、農村
青年が離村し部会の上場を流れて
いるという現象があるが、社会保
障制度が発達しているので、青年
は同様の心配もなく、日でも社会
会に於いて貧富差ももつてい
たに等しい。日本では、大
多数が健康保険に加入してない
健全な制度におかれていないため
老後の心配がある。欧州では、だ
から年金の制度がある。貯蓄す
るのもその目的があつた。たゞ
は自衛軍を回つたが、自衛軍を
めのものである。

欧州では働けば働いただけ遊
ぶということが徹底している。日
本では家庭教育が厳格であるため

欧州の社会教育を見て

全公連事務局長 樋上亮一

家庭教育の 厳格なイタリー

イタリーは欧州諸国のなかでは
やや文化水準の低い国、特に蘭語
は貧しい。義務教育も進んでお
り十年前で二割の文盲があつた。ロ
ーマでさえ難民のような文盲が多
い。その対策を考えている。
スウェーデン、ポーランドについては、人

人の心も美しい スイス

スイスは九州くらいの小さな国
景色も美しいが、人の心も美しい
年間を通じて外国の旅行者をあ
たたくて迎えてくれるのに感心す
る。泥濘のない国で、開礼果
然な国ではない。駐留してもカギ

使つただけの予算を くれるデンマーク

デンマークは、農業関係の先進
地で、社会保障も進んでいる。こ
のデンマークも現在は農業国から
工業国に向つている。農業者は二
〇%で他は第三次産業に流
れている。

糖衣錠のような イギリスの公民館

イギリスの公民館ともいふべき
イギリスの公民館ともいふべき
イギリスの公民館ともいふべき
イギリスの公民館ともいふべき

アイテアを生か しているドイツ

ドイツは青年教育が、地方自治
体で邦画二七〇億圓、国費入
ると二二〇億圓の予算をつぎ込ん
でいる。日本もまねてほしい。
一つの施設を見た。ところが当
初備品の管理がなっていないとい
う。役所がたつた。ドイツは
は役所がたつた。ドイツは
は役所がたつた。ドイツは

と想う。一例を上げると、勤めて
いる娘の帰省が一時の間でも遅れる
と、家庭から必ず電話の問い合わ
せがある。日本では娘が時代が
ちがうわ」といふと母親は「そ
ういふものがね」といふのでなく
は終りになつてしまふ。

スイスは九州くらいの小さな国
景色も美しいが、人の心も美しい
年間を通じて外国の旅行者をあ
たたくて迎えてくれるのに感心す
る。泥濘のない国で、開礼果
然な国ではない。駐留してもカギ

デンマークは、農業関係の先進
地で、社会保障も進んでいる。こ
のデンマークも現在は農業国から
工業国に向つている。農業者は二
〇%で他は第三次産業に流
れている。

イギリスの公民館ともいふべき
イギリスの公民館ともいふべき
イギリスの公民館ともいふべき
イギリスの公民館ともいふべき

ドイツは青年教育が、地方自治
体で邦画二七〇億圓、国費入
ると二二〇億圓の予算をつぎ込ん
でいる。日本もまねてほしい。
一つの施設を見た。ところが当
初備品の管理がなっていないとい
う。役所がたつた。ドイツは
は役所がたつた。ドイツは

アイテアを生かしているドイツ
ドイツは青年教育が、地方自治
体で邦画二七〇億圓、国費入
ると二二〇億圓の予算をつぎ込ん
でいる。日本もまねてほしい。
一つの施設を見た。ところが当
初備品の管理がなっていないとい
う。役所がたつた。ドイツは
は役所がたつた。ドイツは

イギリスの公民館ともいふべき
イギリスの公民館ともいふべき
イギリスの公民館ともいふべき
イギリスの公民館ともいふべき

デンマークは、農業関係の先進
地で、社会保障も進んでいる。こ
のデンマークも現在は農業国から
工業国に向つている。農業者は二
〇%で他は第三次産業に流
れている。

スイスは九州くらいの小さな国
景色も美しいが、人の心も美しい
年間を通じて外国の旅行者をあ
たたくて迎えてくれるのに感心す
る。泥濘のない国で、開礼果
然な国ではない。駐留してもカギ

講師紹介

樋上氏は、かつて滋賀、愛知、福岡、富山の各県を歴
勤、戦後、富山県公館室主任となり、昭和25年から昭和33
年まで人事院公館室主任、同室長、同室長として
活躍。現在は上智大学文学部助教授、全国公民館研究會常務
理事もされている。先年平沢教育大教授と欧州を視察
した。

アイテアを生かしているドイツ
ドイツは青年教育が、地方自治
体で邦画二七〇億圓、国費入
ると二二〇億圓の予算をつぎ込ん
でいる。日本もまねてほしい。
一つの施設を見た。ところが当
初備品の管理がなっていないとい
う。役所がたつた。ドイツは
は役所がたつた。ドイツは

イギリスの公民館ともいふべき
イギリスの公民館ともいふべき
イギリスの公民館ともいふべき
イギリスの公民館ともいふべき

デンマークは、農業関係の先進
地で、社会保障も進んでいる。こ
のデンマークも現在は農業国から
工業国に向つている。農業者は二
〇%で他は第三次産業に流
れている。

スイスは九州くらいの小さな国
景色も美しいが、人の心も美しい
年間を通じて外国の旅行者をあ
たたくて迎えてくれるのに感心す
る。泥濘のない国で、開礼果
然な国ではない。駐留してもカギ

